

# 業務の新聞

第56号 2020年 5月 17日

## マスクを支給せよ！

みなさん！ご自愛ください！

新型コロナウイルスとのたたかいは、あなたとあなたの大切な家族そして仲間たちの命を守るものです。三蜜を避け、手洗いを十分に行い、咳エチケットを守り、換気を行いましょう。

首都圏では緊急事態宣言は「解除」されませんでした。まだまだこのたたかいは継続するということです。

そのような中でJR東日本のグループ会社の中には「マスク」すら支給しない会社があります。私たちが知りえた情報によれば、JR東日本本社の事業創造本部が各グループ会社の担当をしているそうです、この危機的現実を知っているのかどうか、とても心配になります。

**「マスクを支給せよ！」**

新型コロナウイルス感染のリスクを冒して日々業務を担っているすべての仲間たちに

**「マスクを支給せよ！」**

JR東日本会社が行う「命を守る施策」が実行されないということがあってはなりません。まさかグループ会社だから「必要なし」とは思っていないでしょう。

**「マスクを支給せよ！」**

まだまだ新型コロナウイルスとのたたかいは継続されます。職場、現場では必要なアイテムを揃え、状況に応じて、その更新をしていかなければなりません。

「命を守る」ために私たちは、発信し続けます、会社と真剣に向き合います。

みなさん！頑張りましょう！

## 「現場の判断」？！

新型コロナウイルス感染拡大予防のために様々な施策が展開されています。「テレワーク」「自宅待機」「時短行路」などを実施するにあたってはすべてが『現場の判断』とされています。みなさん！あなたの職場は『大丈夫』ですか？勤務認証や勤務指示に問題や疑問・不安はありませんか？

現場管理者の皆さん！あなたの職場は『大丈夫』ですか？あなた方が行った勤務認証や勤務指示に問題や疑問・不安はありませんか？

新幹線や在来特急の運行ダイヤの見直し、車内改札に見直し、駅の窓口閉鎖、作業の見直しなどを行い、積極的に業務に必要な最低限の社員以外を「帰宅」させているようです。残念ながらこれも「現場の判断」ということで各職場バラバラの状態です。なかには「マイプロは、行う」「〇〇委員会は、行う」と判断されている「現場」もあります。

**「命を守るために」**

今すべきことは、現場管理者がなすべきことは、社員とその家族の「命を守る」ための行動です。新型コロナウイルス感染拡大予防の行動です。

現場管理者の皆さん！

現時点それに勝るものが何かありますか？社員とその家族の命を守るために「あなた」は何を考え、何を行いますか？今一度あなたの職場を見てください何が見えますか？何が聞こえますか？

**「命を守るために」**

より良い職場とより良い会社を創造するために、職場からもうひと頑張りをお願いします。